



# 施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

## 1 施策の基本情報

施策名		14 地域コミュニティの醸成
目的	対象	市民, 地域コミュニティ, 市民活動団体
	意図	コミュニティ活動が活発に行われるようになる地域の一員としての連帯感を持つことができる
施策の方向		市民が地域活動等に積極的に参加し, 市民同士の交流が促進できるよう, 地域コミュニティの形成を支援します。また, 地域の課題等について, 自分たちで取り組み, 解決できるよう環境づくりを行うとともに, 自分のペースでゆるやかにつながることができる地域コミュニティの醸成を図ります。

## 2-1 施策全体の考察①（施策の目的, 方向に対する考察）

<p>施策の目的, 方向に対する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区協議会未設立の柏野小学校地区において, 自治会や学校関連団体等と地域コミュニティのあり方について意見交換を重ねる中で, 18番目となる地区協議会が設立された。また, 自治会支援の取組として, マンション管理士会の協力のもと, 新たにマンション住民への自治会加入・設立支援を行うとともに, 防災市民組織の自治会未設立団体に対して地域基盤としての自治会組織の意義を理解頂くことで, 自治会設立に向けた意向醸成を図るなど, 地域コミュニティの活性化に向けた支援を行った。</li> <li>・地域福祉センターに予約システムを導入したほか, 利用者の利便性の向上と事務の効率化を目的とした電子錠の設置や指定管理料の見直しによる効率的な運営の促進など, DXを活用した施設の機能向上を図った。</li> <li>・市民活動支援センターに新たにコミュニティルームを設置することで, 市民活動のきっかけづくりなど中間支援コーディネーター機能を生かした活動スペースの充実を図った。</li> <li>・今後, 地域コミュニティを取り巻く社会情勢の変化を踏まえ, 地域の主体性を尊重しながら, 地域内・間の連携に向けた体制づくりを推進するとともに, 地域活動の促進に繋がる活動拠点としての施設運営に取り組む。</li> </ul>
---

## 2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移/考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合	%	33.0 令和4年度	27.0	50.0 令和8年度	▼	・令和4年度と5年度のまちづくり指標が異なるため, 一概に数値を比較することは出来ないが, 今後も自治会や地区協議会など, コミュニティ団体に対する支援や交流を通じて, 地域活動の活性化に向けた支援に取り組む必要がある。
地域コミュニティ施設の利用者数	人	22万7,969 令和3年度	33万8,566	30万 令和8年度	◎	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い, コミュニティ活動が活発になったことや, 新たに令和4年度からふじみ交流プラザが開館したことが要因と考えられる。
地域活動に参加している市民の割合	%	15.3 令和4年度	20.4	33.0 令和8年度	○	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い, 令和元年度以降, 減少傾向にあった地域のコミュニティ活動が増加したことが要因と考えられる。

※ ◎: 目標達成 ○: 目標値を未達成 (前年度より向上した) ▼: 目標値を未達成 (前年度より低下した) ⇒: 目標値を未達成 (前年度と同じ又は前年度数値未把握) - : 数値未把握 (調査未実施など)

## 3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向

### ■14-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
52	地区協議会の設立と支援	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・柏野小学校地区: 7月に18番目の地区協議会として「かしの地区協議会」が設立 ・未設立の二小地区については, 地域内のつながりをテーマに自治会や学校関連団体と意見交換会を開催 ・全18地区協議会の構成する地区協連会において, 地区協間における連携について検討。2地区合同の防犯パトロールを実施	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・地域コミュニティの形成に向けて, 地域の主体性を尊重しながら, 地域内・間のネットワーク組織の必要性について理解を深めることで, 地区協議会設立に向けた支援を行うとともに, 未設立地区を含めた地区協議会間の連携に向けた体制づくりに取り組む。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
<p>①自治会連合協議会と協働で「自治会といっしょに！キャンペーン」を開催し、自治会活動を広く周知したほか、HP立ち上げ講習会や相談会を通じて、自治会の課題解決を図った。</p> <p>②自治会の設立支援の取組として、マンション管理士会の協力のもと自治会未設立マンション及び、防災市民組織団体に対して戸別訪問による自治会設立の案内を行い、新規の自治会設立に繋がった。</p> <p>③次世代を担う若者に対して自治会の理解を深めるため、「自治会をもっと知ろう」チラシを作成し、市内都立高校の全生徒に配付したほか、市内の不動産店舗と連携した取組として、店頭で自治会リーフレットを配架するなど、加入促進に向けた情報発信を行った。</p>	<p>①②③地域コミュニティの基盤となる自治会については、地域連携の要であることから、自治会連合協議会はもとより、地域のネットワーク組織である地区協議会をはじめ、学校関連団体との連携を図ることで、自治会の魅力発信など自治会支援に取り組む。</p>

■14-2 地域コミュニティ活動拠点の充実

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
<p>①地域福祉センターに予約システムを導入するとともに、全館をLED化及び外付AEDに変更</p> <p>②ふれあいの家の指定管理者の更新を踏まえた、指定管理料の見直しや電子錠の導入による効率的な施設運営の推進</p>	<p>①施設の機能向上に向けて、エレベーターの設置など一層のバリアフリー化を推進するとともに、多様なコミュニティ活動を踏まえた活動拠点のあり方など、地域活動の促進に繋がる施設運営に取り組む。</p> <p>②運営委員会の負担軽減と利用者の利便性の向上に向けて、運営委員会と協議のうえ、予約システムの導入に向けた検討を行う。</p>

■14-3 地域コミュニティ活動への参加の促進

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
53	市民活動支援センターの運営	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<p>・第10回まち活フェスタは、市民公募を含めた実行委員会による企画により、コロナ禍において縮小していた内容を従来規模で実施（1,600名参加）</p> <p>・えんがわフェスタは、多文化交流を目的として、国際交流協会を通じて「ちょうふで世界とつながろう」をテーマに外国人在住者と交流会を実施</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<p>・多様なコミュニティ団体を支援し、団体相互の連携を促進するため、市民活動の中間支援組織である市民活動支援センターを通じて、各種活動の相談や「えんがわフェスタ」、「まち活フェスタ」等の交流イベントを実施することで、地域活動への参加促進を図る。</p> <p>・令和6年4月から開設したコミュニティルーム（前・国領駅北ふれあいの家）について、地域活動の拠点として利活用を促進するため、キャッシュレス決済を導入するなど、利便性の向上に取り組む。</p>

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
<p>①ちょうふコミュニティサイト「ちょみっと」について、SNSと連動した発信に努めたほか、地域情報紙と連携した居場所マップを作製するなど、サイト内容の充実に取り組んだ。（アクセス数：前年度比43%増）</p> <p>②地域情報紙「じょいなす」は、地域のつながりをテーマに「若者」を対象として、新たに市内小・中学校の全児童・生徒に配付したほか、年1回の発行を2回に変更することで、幅広い情報発信に努めた。</p>	<p>①②より多くの市民がコミュニティ活動に関心を持ち、参加に繋がるよう、ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」や地域活動情報紙「じょいなす」を活用するなど、様々な活動情報を多様な手段を用いて発信することで、市民活動に参加するためのきっかけづくりを推進する。</p>

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<p>・地域福祉センターにおけるインターネット予約システムの導入【令和5年度】</p> <p>・ふれあいの家に物理鍵を不要とする電子錠（スマートロック）の導入【令和5年度】 【令和6年度以降】</p> <p>・ふれあいの家におけるインターネット予約システムの導入検討</p> <p>・ふじみ交流プラザ及び市民活動支援センター（コミュニティルーム）にキャッシュレス決済の導入（令和6年度）</p> <p>・地域福祉センターにおけるキャッシュレス決済の導入検討</p>	<p>・地区協議会及び自治会連合協議会と連携した地域コミュニティの推進【令和5年度、継続】</p> <p>・NPO団体など多様なコミュニティ団体の連携によるまち活フェスタの開催【令和5年度】</p> <p>・自治会など、地域住民を主体とした指定管理者制度によるふれあいの家の管理運営【令和5年度、継続】</p> <p>・市内旅行者との協働・連携によるふれあいの旅事業の実施【令和5年度・継続】 【令和6年度以降】</p> <p>・市制施行70周年を見据えた地域コミュニティの醸成に係るイベント等の検討・実施</p>
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
<p>・地域福祉センター全館（10館）のLED化【令和5年度完了】</p> <p>・ふれあいの家（3施設）のLED化【令和5年度】</p> <p>・ふじみ交流プラザによるクールシェア事業の実施【令和5年度】 【令和6年度以降】</p> <p>・ふれあいの家の電気設備の更新時におけるLED化</p> <p>・再生可能エネルギーへの転換の推進</p>	<p>・調布ヶ丘地域福祉センターの改修工事に伴い、災害時に福祉避難所の記載台の設置や受付スペースに活用できるよう、ロビーのレイアウト及び応接セットを変更【令和5年度】 【令和6年度以降】</p> <p>・公共施設マネジメント計画に基づく大規模改修に加え、修繕や設備更新の際には、非常時の利用も想定した設備を検討・配置</p>